

内容

- 【Track1】出会う 2
- 【Track2】見飽きた顔 5
- 【Track3】デートの誘い 8
- 【Track4】デートの終わり 13
- 【Track5】「ロートーク」 16
- 【Track6】ちややき寝取らせ報告 20
- 【Track7】ちややき寝取らせ報告 235
- 【Track8】ハムリン 44
- 【Track9】本当の寝取られ報告 50

【Track1】田舎っ

【画面／遠】→マイクからの【位置／距離】

青のストーン・ローバマン

少女魔王、この居酒屋で働き始めてから一週間程
まだ慣れていない

おお、いらっしやいませー

【画面／中】

ん？お主は一人か？席は、そうじゃな……うむ。そのカウンター席に座ると良いぞ
お通しとやらを持ってくるからな、腰かけて少し待っておるのじゃ
すまぬすまぬ、またせたな

よし、では吾輩が直々に注文を聞いてやるとしようっ！

苦しゅう無いぞ、さあそのメニューから注文を選ぶとよい

【画面／近】

ん、どうしたのじゃ？なんじゃ、その顔は 吾輩の顔に何かついておるのか？
え？吾輩の話し方がおかしいじゃと？

【画面／中】

あつ……そうじゃった、しまった

……まだクセが抜けないで、油断していると、ついいつも通りの調子で喋ってしまうのう
えつと……こつというときはどうじゃったかの？

オホッ

わ、わたくしが、注文を伺ってやりましょう……？……か

うゝむ……？

え？

もつと、おかしくなったと言っのか？

うゝむ、どうもまだこの言葉には慣れぬな……

ん。何じゃ、その珍獣でも……西の泉のユニコーンでも見るような顔は
んん？

フフフは格好つけた感じ、アハハは普通の女の子
魔王の自分と人間社会の自分が混在しています

その後年上として、偉そうに説教します

ふふふっ、あははっ

ああ、すまんすまん

いや、なに。先程までのお主はドラゴンに村でも焼かれたような悲惨な顔をしておったからな
だいぶ明るい顔になったな。良く分からんが、少しでも元氣が出たようで良かったぞ

今日は何か嫌なことでもあったのか？

吾輩の経験からとも言えることじゃがな……、

どうしようもない、自分の力ではどうにもならないと思う様な事があっても、案外なんとか上手くいくものじゃよ
この世界はそこまで残酷に出来ていない、という事じゃ

ユグドラシルの枝は硬いつ、よく言ったモノじゃな

うむ。なに、年長者からの金言というヤツじゃ。キモにめいじておくと良いぞ
へ？子供に見えるじゃと？

失敬な……！見た目で判断するでないっ

吾輩はこう見えても……、と。

って、

ああ、そうじゃった。注文、注文！

焦って少し早口になる

こんな所で油を売っていたら、また店長殿に叱られるわい

今日はこちらの、本日の刺身がオススメじゃぞ

店長殿がわざわざ早起きして港に仕入れにいったという話での、

吾輩もさっき端っこを失敬してみたが、コレが美味でのお

極北のポルトウーズ湾の海鮮に勝るとも劣らぬ逸品じゃ

食べてみる価値はあると思うぞ

ん、何々。

決まったのか？

メモするから待っておれよ

ふむ、ふむふむ。

それと、それと、それかつ

よしよし、分かった！

そのオーダー、この吾輩がうけたまわったぞ、

それではお主、しばし待っておれよ、

【Track2】見飽きた顔

【中／中】

顔見知りになって馴れ馴れしくなっています
おお、お主また来ておるのか
会えてうれしいぞ

【中／中】

うむ、今日はこれからシフトなんじゃよ
注文は、済んだのか
注文票を見ている
ふむふむ
ちよつと待っておれ
時間が空く

【中／中】

待たせたの
ほれ、これが、注文の品じゃな
からかう様な口調で
しかし、なんじゃ、お主。また居酒屋で夕食か？
お主、こここのところ頻繁にウチの店に来るのう
そんなにこの味が気に入ったのか？
外食ばかりでは身体にも悪からうに
一緒に食べる仲間は居ないのか？
寂しいヤツじゃのう

まあ、そういう吾輩も一人なのは一緒じゃがな
確かに、一人で飲むならここは賑やかで良いのかもしれん
ん？ 吾輩か？

ああ、ちと理由があつてこちらに越してきたばかりでう

この街に来てから……、そうじゃのう、もう一年ぐらい立つからのう

ほら、お前が初めて来た日の少し前の事じゃ

住むあても仕事のあてもなくて途方に暮れていたところじゃったからな

吾輩を拾つてくれた店長殿にはとても感謝しておるよ

ん？なんじゃ？吾輩の身の上話が気になるのか？

興味を持たれて嬉しかったが、この間で成り行きを説明するのが面倒くさくなります

……ん

まあまあ、吾輩の事は良いではないか

そういうお主はどうなんじゃ？

初めてまみえた時より大分顔色や面構えは良くなった様じゃが仕事の方は上手くいっておるのか？

ふゝん、なるほどのう

人間というのは大変なんじゃな

うむ、感心じゃな。下働きご苦労つ

ところで、お主、最近よく顔を出すが、この店に住処が近いのか？

ふむふむ

そこつて、あそこのことじゃな？

そうかそうか

ふゝん

ん？なんじゃ？

え？注文してない料理があるじゃと？

この卵焼き？

ああ、そうじゃった

これなんじゃが、吾輩が作つてみた料理なのじゃ

最近、店長殿に言われて厨房にも多少入る様になつてのう。

ちよつと焦げてるが、味は変わらないハズじゃよ？

店長殿の目を盗んで入れた、根菜……？ 的なモノが隠し味じゃ！

名付けてメリディエス風、卵焼き風、デスバレーのマドゴンドラ風、じゃつ

ああ、もちろんお題は頂かぬから安心して良いぞ

……吾輩が直々に作ったのじゃから、ホントは「万ゴールドは下らぬハズじゃがな

さあさあ、味見してみよ

吾輩の自信作じゃぞ

【近】

……どうじゃ？

おいしい？ 美味いか？

えへっ、良かった

客に出すなら最初にお主に食べて欲しいと思つての

あ、練習台にしやすいという意味じゃぞ

あつ、おつと、お主と話していると昔を思い出してつい長話してしまうのう
では、吾輩は仕事に戻るぞ！

【中】

あ、お主の事はこれから練習台にしてやるから

まあ、今後ともごひいきによりしく頼むぞっ

【Track3】デートの誘い

【近面】

自信満々で良い答えが返ってくることを確信している声色
どうじゃ？

吾輩の卵焼き、結構上手になってきたじゃろ？

もうそんなに焦げてないし、形も前ほど悪くないじゃろ

最近、忙しくない時は他の客にも出すようになってきたぐらいじゃからのう
心底意外そうな声色で

【中面】

え？こんなに上手くできてるのにタダで貰って申し訳ない？

タダなわけなからうが。この吾輩の卵焼きじゃぞ

せん……、先週辺りから普通に請求しておるからレシートを見ると良いぞ
頼んでないのにひどいじゃと？

黙れ！お主も美味しい美味しいと食べとったじゃろうが！

……まったく。

ソワソワしている主人公に気がつく

ん、会計か？

注文票を、ちよつと待つておれ……

あれ、違うのか？

んん、どうしたんじゃ？なんじゃそんなに、急にあらたまって

クリスマスデートが浮かんでこないの、主人公が何の為に聞いているのか理解出来ていません
え？クリスマスの予定じゃと？吾輩のか？

……クリスマスって、たしか……来週か

うむ、確かにその日はバイトも無いし予定はないが
それがどうしたのじゃ？

一緒に出かけようじゃと？

吾輩と？お主の二人でか？

二人で……、クリスマス……

ここで主人公の意図に気がつきます

でも、確信では無く考えながらという感じです

考えていると、想像して段々楽しくなつてきます

あっ

ふ、ふむ……

そ、そうじゃな、ちと楽しそうでは……

でも自分魔王だし……メンツとかあるし……と悩みます

しかし、うむ……

ううむ……

悩みすぎて腹がたつてきます

ああ、もうっ！

【左／密着】

お主、ちよつとこっちへ来い

良いから来るんじゃ！

そうじゃ、トイレじゃ

ん？何じゃその顔

何かよこしまな事を考えていないか？

ヒミツの話があるだけじゃ！

いいから来い！

【正面／近】

よし、念の為鍵をかけて、と……

ふう、お主にはこの姿を見せるつもりは無かったのじゃがな

驚いて声をあげるでないぞ

ここからすこし真面目な口調

ふう……、んっ……

どうじゃ。見よ、この黒き堂々たる角を

この姿をこちらの人間に晒すのは初めてじゃな

分かつたであらう。お主と吾輩とは、けして相容れぬさだめ……

お主は鈍いから想像もつかなかったじやろうが、

吾輩の正体はこの世界と異なるコトワリの別世界……

いわば……そうじゃな、異世界から来た魔族の王、魔王なのじゃ

今は訳あって、こんな情けないチンチクリンな姿じゃがな

かつては魔族の四方を束ね、歴代最強とうたわれた

ダウスタラニスに覇を唱える魔族を束ねし大魔王なのじゃっ

……ん、どうじゃ、恐れいったであらう？

威厳が伝わらない事にショックを受けている様子で

あれっ？ お主、なんでそんなに嬉しそうなんじゃ？

魔王じゃぞ？ ちゃんと聞いておったのか？

歴代最強じゃぞ？ ダウスタラニスの覇者じゃぞ？

偉いんじゃぞ？ 怖いんじゃぞ？

マウントをとりたかった反面、

怖がられたら悲しいな、という気持ちもあつたので安心します

……ん、ふふっ

全く気にならない様子じゃな

呆れたわ。この話を聞いても吾輩に対する態度が変わらぬとは

全くもう、仕方の無いヤツじゃな

ふふふっ

思い出した様にわざとらしく

自分はそんなに意識してないし興味無いけど、と強調したい

ああ、なんじゃ

なんだったかのう

クリスマスにデエトしたいという話じゃったか？

勇気を出したのでちよっと声が震えます

よいぞっ

照れ隠しに早口で

あつ、ただしじゃ、吾輩が魔王ということを知った以上、敬意と畏怖の念を払うことはゆめゆめ忘れるでないぞ

誇りを持って吾輩をエスコートするように

こんな名誉、シャドウパレスの四天王にも与えたことがないのじゃぞ
吾輩を退屈させぬように最大限の努力を見せることじゃ

ふふっ

……だがまあ、お前と行くならどこでも楽しそうな気がするが、のう
んっ、なんでもないわ

何も言っておらん

焦って早口に

あっ、しまった

店長が呼んでおる

それじゃ、この話はまた今度じゃ

怪しまれぬよう、少ししたらここを出ると良いぞ

【正面／遠】

白々しく、嘘が下手な感じで

すまぬのじゃ店長殿

え？と、とととと、トイレにいつておっただけじゃヨ

そう、そうじゃ

うむ

雑誌のことを思い出して、少し早口に

あっ、店長殿

こないだ店に、客が忘れていった雑誌、まだ残っておるかの？

ほれ、昨日の……その席の

上機嫌が隠せない感じで

キラキラしたクリスマスツリーが表紙の

そうそう、デートスポットとか載ってたヤツじゃ

あ、やった

そしたらソレ、もう貰っていつてよいかの？

ほんとか……！

うん、うん、うん

【Track4】デートの終わり

【右／近】

ウキウキしています

あははっ、ふふふふっ

クリスマスツリー、キレイじゃのっ

キラキラ、様々な色に輝いて

吾輩の居た世界の言葉では表現出来ない美しさじゃ

【正面／近】

なあ、今日は楽しかったのう！

お主と出かけて、正解だったのじゃ

また機会があれば、こうして一緒に遊んでやっても良いぞっ

独白です、魔王として遠くを見てつぶやくように

ふうっ

こつちの世界は楽しい事でいっぱいなのじゃ

こんなに平和で愉快な世界じゃったら、魔族と人も争わずに、一緒に暮らせていたのかもしれないのう

吾輩を倒した勇者のヤツは女とあれば見境無く襲うようなとんでもないヤツじゃったが

人間という種族でも、あのような下劣な輩は本当に一握りなのかもしれぬな

もし、吾輩に向こうに帰れる機会があつたのじゃったら、魔族達を再び率いてこんな世界を目指してみたいものじゃのう

……人間どもとも和平を結んで……

神など信じておらんが

仮に居るとしたら、それが吾輩に課せられた使命というヤツなのかもしれぬな

元に戻る

独り言を聞かれて、ちよつと恥ずかしい

ん、いや。なんでもないぞっ

あれ？ なんじゃ、真剣な顔で改まって

……え？ 付き合ってくれ、じゃと？

分かっているけど不安だから直接聞きたい

そ、それは。ど、どういう意味じゃ？

……うう、お主には言ったはずじゃぞ、吾輩の正体を
う……うう

焦って照れ隠しに声を荒げる

だ、ただただ、ダメに決まっておろう

こ、この吾輩の恋人など、お主ごときには1000年は早いわ！

後悔する

あつ……、ううつ

そんな顔、するでない

な、何をそんなに落ち込んでいるのじゃ

説教口調だが、少し焦っている

【正面／密着】

話は最後まで聞け

サラマンダーの炎が消えるときはその生涯を終える時、じゃぞ。昔からそう言うじやろうが
んっ

少し屈め

いいから。命令じゃ

大体お主はいつも、頭が高いのじゃっ

背伸びしてキス

んっ、ちゅ

……ん

恥ずかしくなる

んっ

魔族の王たるこの吾輩と

人間風情の貴様が対等に恋人などとは、片腹痛いわ

お主と吾輩では……、文字通り住む世界が違うのじゃ

……んんっ

【正面／近】

考えながら

じゃが、じゃがじゃよ

ぼそぼそと言っ感じで

この世界での吾輩のシモベ、その一号というのなら別に構わんぞ

あくまでも、しもべだからな

吾輩の方がエライし、吾輩の側からかつてに命令無しに離れることは絶対に許さん

解答を聞いて、不安が無くなって幸せそうな声色

いいのか……？それで

いいのか。そうか、そうか

ふふん、ふふっ

ふふふっ、ふふっ

嫌われたく無い一心でガマンしていたワガママな部分が解放されます
ウキウキハイテンション

【画面／近】

そ、そうと決まったら

早速命令じゃ

吾輩はもっとう行ってみたい所があつての

今日は不眠の覚悟で付き合つて……、一緒に居て貰うぞ

まずは、この雑誌の……、……じゃ

ん？なんじゃ、その顔は。

当然、今からじゃぞ

ほら、早く吾輩を連れて行かんか！

ふふふっ

落ち着いて肌恋しくなった

……んん

ちよつと、待つのじゃ

【右／密着】

寒い

寒いから、ぎゅゝってしろ

命令じゃ

黙れ

命令じゃ

【Track5】Jロートーク

【正面／密着】

トラクから6ヶ月、セックスも普通にしている関係

正常位でしています。行為を始めてからそれなりに経っています

話ながらも、息が荒い感じで

んっ♡んっ♡あんっ♡んうっ♡ふっ♡はんっ♡

んふふっ、ん♡

……命令じゃ、キスっ

ん、ちゅ、んあっ、あっ♡んう♡

んっ♡んっ♡んっ♡出そう、か？

ふふふっ、いいぞ、そのまま中に出すのじゃ

あっ♡、ああ♡、あ♡、ああん♡、あ♡、ああっ♡、あっ♡、ああ♡、ああん…っ♡、あっ♡、あっ♡、あんっ♡、ああ♡、ああっ♡、ああん…っ♡

主人公射精

上がった息をゆっくりならす

ん、……ん、……ん

…はあ、はあ、はあ、はあ、

はあ……あったかい

お主の精液、あつたかいのう
……え、中に出して良かったのかじやと？

【正面／近】

深呼吸して、息を整えてから

ああ、そのことなんじやが

最近な、精液には魔力があることに気づいたんじや
吾輩は魔力を失ってしまったと前に言っただじやろ？

隠語は言うのが恥ずかしい

こうして、お主と……スれば、のっ

魔力が溜まってきて、元の力を取り戻せると思うのじや

自分に言い聞かせるように

何度も、何度もすれば、あるいは不可能じゃないはずじや……
へ？

だから頻繁にエッチをしたがってたのか、吾輩の性欲が強いのかと思ってた、じやと？

ぶ、無礼な事を言うやつじやなっ

早口で、囃んでも良い

スマキにして煮えたぎるモンス・ウルカニウスの火口に投げ込むぞっ

言い出しづらいけど迷いながら口を開く

……ふう

だが、じやな

これは言おうか迷っておったのじやが

そうして得られる魔力は薄くて、とても微量での

今のままお主から貰っているだけじやと、何十年かけても元の世界に戻る程の魔力はたまらないのじや

魔石を取り出しキラキラした音

これを見るのじや

綺麗な石じやろっ？

これは、吾輩に溜まった魔力を可視化した……大魔石と呼ばれる結晶じや

この結晶一つに、お主との……およそ二〇〇回分以上の契りで得た魔力が込められている

今日の交わりの分で、やっとこれが作れたワケじゃが帰るための魔力となるとこれが何十個も必要なのじゃ。
この世界も嫌いではない

だが、吾輩もできるならば前いた世界に戻りたいのじゃ
仲間を……、魔族達を置いてきてしまうことになったから、のう……

吾輩にも、王としての責任があるからな

言おうかすぐ迷う

主人公が自分の事を軽蔑しないか、不安で仕方が無い
それで

ううっ

それで、なんじゃがな

ナンチャッテみたいな冗談を言うような上ずった声

それで……、少し考えたんじゃが……、他の男の精液を貰ってみるといっのはどうじゃろうか？
あつ……、言ってみただけじゃよ

お主が嫌だったら吾輩もイヤじゃし、吾輩としても……お主以外の男とするのは……イヤじゃ
ただ、そういうのはどうなんだろう、って思っのコトじゃ

他にも方法は、今は思いつかないが、あるはずじゃしな
聞いてみただけじゃよ

そ、そんなに本気になるでないぞ

半分冗談の話じゃからな

え？ いいのか？ は？ むしろ、逆に興奮するじゃと？

すぐく安心して息をつきながら

なんなんじゃ、お主は

言ってみようか、すぐく悩んだ吾輩がバカのようにじゃないか

……お主が悲しむんじゃないかって、吾輩はずっと考えて悩んでいたのに……
しかし……それじゃったら……、一度くらいは真剣に考えてしてみるかの……

こんなにあつさり〇スとは思わなかったら何も考えていない
焦って何か言わなくてはと語り出す

えっと、そうしたら、そうじゃな

吾輩じゃって何度もするのはイヤじゃからな
試しに一度だけ。試みることにするかの

魔力は口でも吸収できるから……、もちろん口でして
なるべく魔力を持った人間も探したほうがいいのう

主人公のスマホを覗く

ん、なんじゃ？

パパ活アプリというのか？

ふむ……？

なるほど、これを使えば確かに

簡単に相手を探せるかもしれぬのう

ふむふむ

ふむ……

想像して、なんだか悲しくなってきた

不安な気持ちも増してくる

ちよつと待つのじゃ

この話は、また明日にせぬか？

……うう

ぎゅーってしろ。命令じゃ

何度も言うが、魔力の為じゃからな？

元の世界に、戻るためなんじゃ

……吾輩の事、嫌いになるなよ……

命令、じゃ

【Track6】ちややき寝取らせ報告

【正面／遠】

最初のパパ活を終えて帰ってきた
主人公との約束の時間から遅れているし、しないと決めていたキスや本番までしてしまったので
怒られないか、嫌われないかすごく不安
でも、それを出したくない（演技が下手なので確実に出ている）
ただいまは寝ているかもしれない主人公を起こさない様に抑えている
た、ただいまなのじゃ〜

【正面／中】

あつ……、お主……
まだ起きておったのか？
もしかして吾輩のこと、待っておってくれたのか……？
その、すまぬ
約束の時間から、大分遅れてしまったのじゃ
目を泳がせながら、ゴニョゴニョと

う、うむ

その、なんじゃ

色々あって、な

……うむ、してきた、ぞ
魔力を得るために

お主以外の男の精を、受けてきた
口に出したら思い出してしまった

大分気持ち良かった。罪悪感を覚えて目を合わせられない

……んっ

……うう、やはり、あつたこと全部、お主に言った方が良いのか？

吾輩としてはじゃな、その、うう……

いや……だが、そうじゃな……

これも全ては魔力回復のため、残してきた同胞達の為じゃ

吾輩は……けつして、やましいことなどしておらんのだからな

お主に話してしまえば楽になるかもしれない

少し焦って、こん願する

……でも

その、話しても……な

頼むから、吾輩の事……嫌いにならんでくれよ？

意外すぎて引きながら、混乱

なんなんじゃは少し泣きそう

……え

は？話しながら……手でしてほしいじゃと……？

吾輩が他の男とシた事を聞きながら、んっ……

お主、おちんちんを触りたいと言うのか？

もう、なんなんじゃお主はっ……

……んん

わかった

吾輩も今は……お主とじゃれついていた方が、その、安心するからの

そう考えたら、嬉しい申し出なのかもしれない

困惑しながらも、早く終わらせたい

ほれ、じゃったら

そこに横になるのじゃ

よし

下、脱がすぞ
んっ……しよっ

責める様に

……勃っておる

お主、吾輩がされたこと想像して、こゝ、勃起させたのか？

……ふう、まあよい

【右／密着】※囁き

これでよいか？

お主の、触るぞ

帰ってきたばかりじゃから

手、冷たかったらすまぬな

触って、少し声がやわらぐ

……ん、あつたかいのじゃ……

最初は、揉むみたいにするれば良いかの……？

言いずらそうに話し始める

ああ、選んだ相手の話なんじゃがな

この間のパパ活アプリというヤツでな、丁度いい相手を見つけたんじゃ

勇者じゃ

吾輩を倒した勇者を募集中のリストの中に見つけたんじゃよ

そうじゃよ、吾輩の世界におった勇者じゃ

吾輩と戦った後、こちらに戻って来ておったんじゃな

自分にも言い聞かせる様に

気持ち良かった自分が少し許せない

も、もちろん、あやつの事は大嫌いじゃよ！

こんな事になったのも元はと言えば全てあやつのせいじゃしな

だが、勇者であれば……魔力の回復にはうってつけ

これ以上にないくらいの人選じゃしな

結果、違っただけと言いつぱく言う

それに、こちらに来てお主に会って……

色々な人間と関わって、あんな奴でも……

もしかしてちゃんと話したら勇者のヤツともわかり合えるのかも、とも思ったのじゃあつ、だが安心すると良いぞ

勇者といっても、あやつはまるでモンスター……トロールの化け物みたいな見た目の中年男じゃ吾輩が心を奪われる等と言うことは……万に一つも……ない

言ってからありそうかもって思っ、震えた声でもう一度言っ

ないぞっ

と、ともかくじゃ

吾輩の、魔力を集める目的などあやつには分からないはず

ここは……

そうっ！ ヤツのこと利用してやろうと思っ、

話を変えたい。早口に、少し白々しく振り返る

勇者のヤツ、吾輩に会っ……とても驚いていたのじゃ

こちらの世界に吾輩が来ているとは知らなかったらしい

向こうの世界では倒したら抱いてやろうとツバを付けていたのに

消えてしまっ、残念に思っ……等と抜かしておっ、

正直、そんな目で見られていたとは虫唾が走る思いじゃが……、今の状況にしてみれば丁度良い

勇者の様な強い男に抱かれるならメスとして本望、等と適当を言っ、

とりあえず一回だけという約束じゃが、抱いてもらっ約束をとりつけたんじゃ

やれやれと、ため息まじりで

あやつめ、目の色を変えて喜んでおっ、

場所は……ここから少し行っところにある、ラブホテルとやらじゃ

ほら、吾輩が働いてる居酒屋の近くの。

うむ

ああ、あやつが案内して連れて行っくれたんじゃ

え？ 吾輩の小さな見た目で良くは入れたん？

ああ、勇者は洗脳魔法も使えるからの

……あの外道……

向こうと同じで、「こちらでもやりたい放題やっているようじゃよ

まあ……そうでもなければお前の言うとおり、今の吾輩の見た目では子供扱いされてホテルにも入れなかったであろうな
あやつと今の吾輩を見比べれば普通に親子……父親と娘ぐらいの体格差があるからのう

吾輩がすぐ側に立って目を合わせると、見上げすぎて首が痛くなるくらいじゃよ？

あやつの容姿も相まって、どこからどう見ても犯罪に見えるじゃろう

少し語気を強める

何をしてても怪しまれない事を良い事に、あやつめっ

受付の……フロントのボーイの前で吾輩の尻を堂々と揉みしだいてきおったんじゃ……！

信じられるか、人前で、下着の中に指まで入れてきおったんじゃぞっ……！

もちろんすぐに振り払ったがな、吾輩も虫唾がはしったぞ

最後の『から……の』は失敗してるの言いよどむ

あつ……もちろん、魔王である吾輩にはそんな低級洗脳魔法など効かぬから、安心してよいぞ
もし、変な事をされたらお主と溜めた魔力を使ってでも逃げることも考えていたから……の

少し信じられない』という口調

……んっ

……うう、お主、こんなに硬くして……

そんなに吾輩の話で興奮したのか？

吾輩、すごく不安だったんじゃぞ？

分かっているのか……、ん？

……ふう、お主にこんな趣味があったとはな

吾輩が相手じゃなかったら、嫌われていたかもしれんぞ？

よし……

では……そろそろ、手、動かすぞ

早さ、これくらいで良いか？

……うむ

思い出すように短くうなつて

……ん、それから部屋に入ったワケじゃが

あやつめ。見た目通りのケダモノじゃった

フロントの一件で分かつてはいたが、とてもわかり合えるような存在でないとすぐに思い知らされたぞ
部屋に入るなり、いきなり吾輩にキスを迫ってきおったんじゃぞ？

奴め、デカい身を屈めて、吾輩の身体を気持ち悪く抱きしめて、こう……まさぐりながらじゃつ
も、もちろん、断ったぞ

結局その後しちゃってるから少し上ずった声でごまかす
当然じゃつ

吾輩が唇を許すのはつ

……んっ

……お主、のみじゃ

決まりが悪いから少し早口に、嘘がばれないか不安で沈黙が怖い

吾輩の拒否など興味も無いように、あやつ

鼻息を荒くして、吾輩の肌に舌を這わせてきおつての……

あやつとはかなり体格差があるからの

吾輩は唇の貞操を守るだけでいっぱいじゃった

首筋とか、胸とかお腹とか……

べろべろべろ……

こんな小さな、少女の身体の吾輩をじゃぞ？

美味そうにべろべろべろべろ

あやつ、絶対にロリコンなのじゃ

もう、ずっつと鳥肌が立っておったわ……！

しかも、あやつめ

舐めながら……いきなり吾輩に勃起したものを見せつけてきおった

自分の手でねぶりながら……

その……吾輩が知っているのはお主のこれ……

お主の大きさがいいじゃったから、かなり大きくてビックリしてしまったの
手を止めて、ハッとなる

あ……、すまん

大きさを比べるのは、デリカシーが無かったかの
だが、お主のが小さい等言いたいのではなく、あやつのが大きすぎるといっただけじゃ
思い出しながら、早口に無感情に言い切ってしまう
え、そんなに大きかったのかじゃと？

ああ、今のお主のコレと比べると……

お主の倍かそれ以上はあつたんじゃなからうか？

血色良く……ガチガチで……筋張っていて……

見ただけで魔力がたぎっているのが分かったわ

沈黙、話が止まってしまふ

目を合わせない

そこから何があつたかわざるおえなくなつて、『まった』となる

……ふむ

……ん？それで、どうした……じゃと？

上ずった声で、簡潔に言つて逃げようとする

それで……、吾輩は……それを、しゃぶつたんじゃ

え？いきなりか、じゃと？

言い訳は少し怒った様に

【石／近】

し、しかたがないじゃろ。濃厚な魔力があふれていたし……

身体が……

そうっ！

気がついたら、口の中にあやつのアレがあつたんじゃ！

ヤツの、洗脳……、魔法の一種、なのかもしれんなっ！

ううっ、吾輩だって、嫌じゃったよ

相手は吾輩が世界で一番嫌いな男じゃ

しかも、シャワーも浴びておらんかったから、口の中が生臭くて

苦くて、しよっぱくて……

うう……

自分で言っていて分からなくなってきた

なんか悲しい

だから……嫌じゃよ

当然、嫌なんじゃ

嫌なハズなのに

【右／密着】※囁き

しゃぶっただけで身体に流れ込んでくる濃い魔力を感じて……

しゃぶるの……

止まらなくなってしまったんじゃ

ささやくように

お主のこれの、何倍も大きいあやつのアレ

口の中でピクピクしてて

絶対違うのに

美味しい、美味しい

幸せ、幸せって思ってしまったて

あやつのアレを舐め回して、口の中でふやかして

汁をすすって、止まらなくなってしまったんじゃ

沈黙

ぽつぽつと語りを再開

そしたら……吾輩が、していたら

あやつ、吾輩の事をへたくそと笑っての

これからの為に、しこんでやるって……口の奉仕の作法を、フェラの仕方を偉そうに教えてきたんじゃ

たしかに吾輩は、その、今朝まではお主しか男を知らなかったからのう

腹は立ったんじゃよ、でも、その時は精……、魔力が欲しくて

腹は立ったが、その……素直に、教わる事にしたんじゃ

うむ、そうじゃの……

わがはいは唇の使い方が単調らしくて……

なるべく手を使わずにしゃぶれとも言われたの

なるべく、こっ舌を使って……

裏筋を刺激したりするんじゃ

吾輩も、その魔力が、欲しいから
言われたとおりに頑張ったんじゃがな

ヤツに鼻で笑われて、角を掴まれて

こっ、無理矢理アレを口の中に押し込まれたり、引きずり出されたり
むりやり奉仕をさせられたんじゃ

まるで道具みたいに

吾輩の口、使われてしまつて

息をするのも苦しかったわ

語気を強め

だ、だがコツは掴んだハズじゃ

言うとおりに舌は使っていたらの、やつめ

のど奥におしこんできおつての

そのまま、射精したぞ

そうじゃ、吾輩の口の中で

ぶびゅつ、ぶびゅつて

バカにする様に

あやつ、アレの大きさだけでなく

精液も凄い量での

お主の倍では効かぬ

飲みきれなくて、えづいて口からこぼしてしまう程じゃったわ

もう、口の中がだいぶ生臭くて……

どんどん臭くて苦いのがあふれてきて……

うう、思い出しただけで……

思い出してうずく

うえっ……ん……

話題を変えたい

じゃがの、これは良い話じゃ……！

その一回の射精だけで、お主の二回分ぐらいの魔力が回復したんじゃ
こぼしてしまった分も考えたら……もっと効率が良いかもしれんのっ

沈黙

言いずらそうに……

んっ……

そ……その後、の……

それで終わりの……

い、一回だけの予定……だったんじゃが……な？

それで……、魔力の回復も予想以上だったものでじゃな

それであやつがどうしても言うから

その後も……、した

……な、何をじゃと……？

それは……その

沈黙

白々しく、平静を演じるように

【石／近】

……セックス、じゃ

で、でも、魔力はたくさん回復したぞ！

臆に、男性器を挿入して、直接体内に射精してもらうのは一番回復効率がいいからのっ

そ、それに、あやつに迫られてしまって、断れなかったというのもある……！！

うう……そんな目で……見るなっ……

す、すまぬ……

でも、魔力の為なんじゃよ？

え……その時……言っのか……？

うう……そうじゃな……分かった

感情なく言い流し、失言したと思う

【石／密着】※囁き

その……な

あやつの精液を口で受けた吾輩は、その……絶頂してしまったんじゃ

あ、違っ

き、気持ち良かったとか……そう言うワケでは無いぞっ

言葉のあやと言うヤツじゃ

魔力が急に回復しすぎて、ふわふわ〜ってなって、頭が真っ白になって……

身体力が抜けてしまったんじゃ

勇者のやつ、それで伸びてる吾輩をベッドに運んでの、服を脱がしてきたんじゃ
体中を観察されて、舐め回されがらの……

も、もちろん

吾輩もただそうされていたワケじゃないぞっ

割と受け入れてしまっていて、そんな事考えて無かったので嘘

嘘を考えながらつまり返す

吾輩も、魔石で……テレポート呪文を、唱えようと、していたんじや
して、いたんじやよ

でも――

ここから本音の証言

後悔と懺悔

気づいたら、あやつのアレが……

さつき出したハズなのに、まだガチガチの

あやつの……それが……

吾輩のあそこに……触れておつての

精液で、ぬめぬめしてたから……

触れるだけで、魔力が流れ込んできて

……吾輩、また……、頭真っ白になって

……よく……、分からなくなっちゃったんじや……

身体が、ぐっつ、て反って

よだれが、たれちゃって……

ヒクヒク震えてる吾輩を見下ろして

あやつは笑つての

入れて欲しかったら、ねだってみろって

聞かれて、しまったとおびえる

ここは言いたくなかった

……ねだったのか、って……？

……あ……

声を震わせながら弁明

……う、演技、じゃよ……？！

ヤツから魔力を貰う為のっ……！

……いれて、いれて……

吾輩、言ったんじゃ

そしたら……あやつの……

あやつの、まだ精液まみれのアレがどんどん入ってきて

太いのが……ずぶずぶ……

ずぶずぶ……って入ってきて……

吾輩は……、うう……

あやつの魔力が流れ込んでくるのを感じての

挿れられただけで、また……

主人公の反応に少し落ちつく

……んっ……お主のおちんちん……ぴくぴくしてる……

ちよつと、安心するのじゃ……

あやつのアレが、お腹で、ビクンビクンって動くのを思い出していると……

お主の……小さくて安心するのじゃ

独白する感じ

余り感情を乗せずに

吾輩がどれだけ声をあげても

それでもあやつは止めてくれないからの

身体を押さえつけられて……

身体が言うこと聞かなくて……

背中が反ってしまって……

頭がおかしくなってしまういそうじゃった

あやつのアレ……

お主とのセックスでは届かない所まで
奥のほうまで入ってくるんじや

子宮の入り口を身体の内までグリグリとされるような感覚じゃ……
あやつ、小さい吾輩の身体をまた道具みたいに扱って

何度も……何度も……

ずぶずぶ……ずぶずぶって

吾輩の事……

最後、多少声を震わせて

気づいたら、あやつが荒い息で吾輩の事抱きしめておつての……

アレが、あやつのおちんちんがお腹の中でドクンドクンってして

精液がびゅ、びゅってお腹の中で吹き出してるのを感じたんじや

でも、すごく良かったと言いかけてやめる

……うん、吾輩、大嫌いなアイツに中で出されてしまったんじや

大嫌いで……嫌なハズなのに……

でも……

主人公の反応に我に返る

作業的に準備する

【石／近】

ん……お主の方も精が昇ってきおつたの

今、ティッシュを出すから、ほれここに射精するのじや

え？今日は飲んでくれないのかって？

ああ……

事務的に、機械的に説明

【石／密着】※囁き

あやつ、勇者から貰った魔力を溜めているから

お主からも魔力を貰うとなると

溜める魔力の波長に食い違いが出て……

とにかく効率がわるいのじや

分かって欲しいと、少し感情的に、説得するように

あやつから貰う魔力に比べたら、お主からの魔力は微々たるものじゃの誤差みたいなものじゃ

同じ理由でお主と身体を重ねるのも良くないが……

こうして手で処理してやることはできるぞっ……………！

撮取してやることは出来ぬが、毎回こうしてティッシュで受け止めてやるからしばらくはガマンして……

出そうと感じ、話を止めて備える

……の

……ん、でるか、よいぞ

主人公射精、余り勢いも無く、がつく感じの無さに安心して少し笑顔が浮かぶ

……ん、あつ、あつ、でた、の

……ん

おわり、か？

……よし

……えっ？

白々しく嘘をつく

上ずった声、早口で調子の狂った否定

【石／近】

それで終わったのかって？

……ん、……それはじゃな………？

……ん

そ、そうじゃよ

そうじゃ、それで、終わりじゃ

それだけ。それだけじゃよ

ああ

フェラで口に一回

抱かれて膣内に一回

それだけじゃ

それだけじゃよ

……うん……それだけじゃったな……

【正面／近】

さりげなく聞くように

それ、での……？

あの……、思ったよりも、最初に考えていたよりもな

あやつと、勇者とまぐわうのは……魔力の回復に効果があったんじゃ

もし、もしじゃよ

もし良かったら……もう一回だけ、な

その、してみたいと言ったら……ダメ、か？

ほ、ほんとかつ？！

良かったあ

早口で少し自慢するように

なあ、お主、これを見るのじゃっ

魔力、今日一日でこんなに回復したのじゃよ

ほら、これ、大魔石じゃぞ。それも、〇個！

お主とでやつと半年ぐらいかかった成果が〇つもじゃ！

これが今日一日で作れたんじゃよ

これなら、思ったより早く必要な魔力が溜まるぞっ

こんな屈辱も、もうすぐ、おわりじゃ

もう少しだけガマンすれば

お主にも吾輩の真の姿を見せてやれるぞっ

【Track7】ちゅちゅき寝取らせ報告2

声(1-1):JK

【E面/遠】

罪悪感より元の身体を見せたいという欲が強い
戻ったぞっ

【E面/近】

なあなあ、お主、見てくれ、見てくれ！

どうじゃ吾輩の身体っ？！

ふふふっ、驚いたか？

シての部分だけ罪悪感を感じて言いよどむが
直ぐに元の調子に

あやつと、その、……シての

吾輩の身体、魔力に溢れてきて、だいぶ大きく戻ったんじゃ！

ほれ、胸もかなり大きくなったし、背もだいぶお主に近づいたぞっ！

もちろん、まだ100パーセントではないがの

魔力も十分じゃし、今なら簡単な魔法ぐらいなら使えるはずじゃぞっ
ん、なんじゃ？

あ、吾輩のこの格好か？

ふふっ、かわいいじゃろ？

あやつが用意した、女子校生の制服というヤツじゃっ

この世界では今の吾輩ぐらいの背丈の少女はみんなこういうのを着ているらしいのう
胸の所は、んっ……ちとキツいが……

吾輩もなかなか気に入っていつておるぞ

呆れた調子で、冗談を言うように

あやつめ、こういう服を着たおなごが好みらしくてのう
吾輩を着せ替え人形の様にして遊ぼうと思ったのか

勇者のやつ、今回は沢山こういう着替えを用意してきおったのじゃ
うむ、この制服もそのうちの一つじゃな

コスプレ……？というらしいの

吾輩も色々な服が着られて、そこは少し楽しかったぞ
ん、どんなものがあつたのか、じゃと？

ふむ

他にも違う学校……？こういう制服がたくさんあつたし
体操服にナース服や水着……、バニー服なんてもあつたの

まつたく、奴め、あんなものどこで手に入れてくるのやら

ああ、着替えては抱かれて、着替えては抱かれての繰り返しじゃ

何度も何度も、前回があんなじゃつたし、時間パックでホテルに入ったのにあつというまの時間じゃつたわ
あやつめ、まるで発情期のゴブリンのように盛りおって

どこにあんな性欲がつまっているのやら

まあ……、そのおかげで吾輩もここまで魔力を取り戻せたのじゃがな

……ここまでの魔力……

……お主とだけだったたら軽く二〇〇年は掛かっていたかもしれぬな
え、何回射精されたのかじゃと？

罪悪感が湧いてくるがごまかそうとする

ちよつと早口に

……ん

そ、その話しいいじゃろ！

今は、この服の話しじゃつ

きよ、今日も、その、手ですか？

良いぞ良いぞ、吾輩の身体も大きくなった事じゃし

技術も、その、色々教えられて上達しているハズじゃつ

うむっ

さあさあっ

そしたら、下を脱いでそこに横になると良いぞっ

あれ、なんか小さいな。がっかり

……ふむ

自分を鼓舞するようにフォローー

相変わらず、お主のは勃起していても可愛いのじゃ

見ていて安心するぞ

ふふっ……

ほれ、吾輩も横に行くから、そこ詰めろ……

んっしょ……

【石／密着】※囁き

では、しごくぞ

んっ、ふふっ

……んしょ……

んっ、ピクっつけたのじゃ

ちよっとまたウキウキしてくる

あ、それで……

この服は……、そうじゃな……えっと

ホテルではなしじゃな……

吾輩、裸のまま疲れて寝ておったのじゃが

魔力が急激に回復したせいじゃな

気づいたら身体が大きくなっていたの

前の服は入らなくなっていたのじゃ

それで、あやつが用意していた、この制服を貰ったというわけじゃな

うむっ……

ん？その前が気になる、じゃと？

あ、いや、特に

ただ、少しじゃれついただけじゃよ……？
細かいことを気にするでないっ
ふむっ

ま、まあ。そ、それでな

吾輩もそのまま、また抱かれると思ったんじゃが
ホテルの方もチェックアウトの時間じゃったからな
そのまま部屋を後にしたんじゃよ

気まずい沈黙

ん、それで解散じゃったのかじゃと？

いや……

あやつ……

ホテルじゃ無くてもつと別の場所でもしてみたいと言いつ出してな？

ほ、ほらっ

この服も貰ってしまったからな？

安くないんじやろ？ こっついの

白々しく、偉そうに

ウムっ

そういう負い目もあって、吾輩も了承したワケじゃなっ

あつ、もちろん魔力回復の為もあるのっ

ファイヤボールでツガイのガルーダを落とすというヤツじゃっ
ウムっ

ホテルを出て少しの所にバスの乗り場があつてな

そこから二人で、バスに乗って

その中で続きをしたんじゃ

あつ、もちろん、決めたのは勇者じゃぞ？

あやつ、チカンプレイ……？ をすると言いつ出しての

吾輩は嫌だったんじゃが

あやつがどうしても、と言いつからの？

うむ、あやつめバスに乗ってすぐに、後ろから抱きついてきおつての

気持ち悪く密着して、うなじに生温かい息を吐きながらスカートの中に、ぱんつの中に手を入れてくるんじや

バスには吾輩と同じ様な制服の奴らが沢山おっとな

吾輩、流石に恥ずかしかったぞ

主人公の性器に反応があり、少し楽しくなる

ん、ふふっ……

たぶん、勇者のヤツが魔法をかけておったんじやろうが

吾輩は回りが気になってしまつて、気が気ではなかったな

女子校生、回りにいっぱいいるのに

吾輩だけが後ろから男に抱きしめられて、ぱんつに手を入れられて

ちゅくちゅく、ちゅくちゅくって音がしてしまつておつての

回りの奴らの視線を感じる気がして、吾輩は……

ん……？濡れておつたのかと？

少し負い目を感じたが

答えた瞬間どうでもよくなる

告白することで快楽を感じた

……そうじゃよ

あやつに、勇者のヤツに沢山オスを教え込まれたからの

触られるまでもなく、吾輩……勇者の匂いだけで濡れてしまふんじや

擬音はゆっくり、読み聞かせる様に

くちゅくちゅ、くちゅくちゅ

すごい音がしちゃっておるのに

吾輩は知らん顔をして正面を見つめておつての……

すぐにブラウスのボタンも外され初めて、あやつの太い手が吾輩の胸をもみしだき始めたんじや

吾輩の胸、だいぶ大きくなったじやろ？

指先で硬くなった乳首をつまんで痛いくらいに激しく……の

ん……

お主にも吾輩の大きくなった胸、見せてやろうか？

身体を離して前をはだける

大きくなった胸に自慢げ

ちよつと待つておれよ

……んっ

どうじゃ？ 見違えたじゃろ？

前は殆ど平らじゃったからの、ふふっ

本当の吾輩は、もつと大きいんじゃよ

ん、胸に赤い……キスマークがある？

ああ……

勇者のヤツ、乱暴に扱うから、その跡じゃろ

吸ったり、揉みしだいたり、好き勝手にしておったからな

あやつ、吾輩の乳首を吸うときにわざとらしく歯を立ててくるのじゃ

ふむ……

あ、お主もおちんちん、さびしそうにしておるな

すまぬすまぬ、触つてやるぞ

【石／密着】※囁き

再び身体をくつつけた

んっ……

ささやくように、再び独白

少しずつ感情を入れて朗読し始める

そうして、吾輩は勇者のヤツに触られておったのじゃが

そうしたら、後ろの……スカートが急にふわっとめくられて、風を感じての

後ろからぱんつに、熱い物がピトつてくつついたんじゃ

ああ、勇者の、おちんぽじゃな

もう勃起しておって、ぱんつ越しに熱くて汁っぱい感触を感じたの

最初は吾輩をからかうみたいに、おちんぽ、こすりつけてきて

ぬっちゅ、ぬっちゅ、って

あやつのガマン汁と吾輩の肌が音を立てて

そうなんじゃ

あやつ、あんなところで勃起したおちんぽを出してきおったのじゃ

吾輩も胸をもみしだかれながら、回りを見渡すが誰も気にもとめん

そうしている内に、ぱんつのあいだからおちんぽがにゆる、と入ってくる感触があつての

溜めて、ここぞとささやく

吾輩におちんぽ挿入、してきたのじゃ

気持ちよさそうな声が

吾輩の中を満喫しているような吐息が後ろから聞こえてな

直ぐに、腰を振ってきおった

ぱんぱん、ぱんぱんって

肌がぶつかり合って音が出て

吾輩も足腰がおぼつかなくて、

吊り輪につかまって立っているのがやっとな

ただでさえ、その頃には魔力で溢れきっているとはいえ、疲れ切っていたからの

ふむ

温まってきて、感情がさらにのる

吾輩、もうこの頃はいつでもよくなってきておつてな

オマンコ

気持ち良くて

気持ち良すぎて

あんつ、あんつ、って声が止まらなくなってしまったんじゃ

えつちなお汁、止まらなくなつて

太ももにだらだら垂れてくるのを感じたな

吾輩も、じきに足が震えて立てなくなつての

勇者のヤツが乱暴に抱きかかえて、支えてきて

吾輩は何度も、何度も

思い切り腰を打ち付けられたんじゃ

ぱちゅん、ぱちゅん

ぱちゅん、ぱちゅん

何度も何度もじゃ

バス、止まって新しい客が乗ってきたりしてるのに
何度も、何度も

ぱちゅん、ぱちゅん

ぱちゅん、ぱちゅん

あやつ、どんどん腰使いが荒くなってきたおつての

もうすぐ射精しそうなんだゝゝゝて吾輩にも分かつて

吾輩、それが待ち遠しくて

出して、出してゝゝておねだりしちゃったんじや

勇者のヤツ、淫乱魔王め、って吾輩の事侮辱しての

ぶびゅつ、びゅくつ、びゅるるつて

黄ばんだ精液が吾輩の子宮にいっぱいそそがれて

少し大きくなったとはいえずぐにこぼれて

太ももの内側にぬるいのがだらだらって垂れて

バスの中に生臭い匂いが立ちこめたんじや

自分の話で喜んでくれたから、嬉しそうに

んっ……お主もイきそうなのか……？

よいぞ

さあ、このティッシュに出すのじゃ

んっ、ふふっ

……あっ

……出たの

やっぱり可愛い

まるで小動物みたいじゃな

主人公の不安そうな顔に、不安になる

ふむ……？

なんじゃ、その顔は

吾輩があやつの……、勇者のものになってしまわないか、心配なのか……？

……ん

……そんなわけ……
……ん……

止めたくないけど、自分にも言い聞かせ、自分とも約束するように言い切る
そ、そうじゃの

うむ、元々、あと一回だけと言うはなしじゃったしな
これで、終わりじゃ

もうあやつとは……勇者とは……会わぬ

魔族の王の名にかけて誓うぞ

約束じゃ

……ん

のう、お主

命令じゃ

吾輩をぎゅーっと……

体格差が狭まって、抱擁感、安心感がなくながっかりしてしまう
あ……

……お主、小さくなったな

……いや、吾輩が大きくなったのか

……ん

……いや、なんでもないぞ

【正面／近】

なんか悲しくなっちゃったから逃げたい

……んっ、今日はっ、色々あつて、疲れたな
もう寝るとしよう

【Track8】ハメイト

声のトーン：大人の女性

【画面/中】

トイレの中、フェラ中。始まってからそれなりに経っている
クリスマスデート時を彷彿とさせる、大好きな相手と話す時の魔王
主人公を呼ぶように、お主と勇者を呼ぶ

——ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡

……んふふ……♡ずっ♡ずぞっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡じゅぽっ♡ぐぽっ♡——ちゅぽっ♡
んふふっ……♡

勇者のオチンポ、すっごく美味しいのじゃ♡

もっとお、んう♡ちゅっ♡ちゅぽっ♡じゅるる……♡ちゅっ♡ちゅぽっ♡ちゅっ♡
ちゅぽ♡ちゅぽ♡ちゅぽ♡ちゅぽ♡ちゅぽっ♡ちゅぽぽお…っ♡ちゅぶぽっ♡
ぶぽ♡ぶぽ♡ぶぽ♡ぶぽ♡ぶぽ♡ぶぽ♡ぶぽぽお…っ♡

ん♡ふはあ…っ♡はあ…はあ…

さっき吾輩の中にあれだけ中出してくれたのに

もうガチガチのバキバキになっているのじゃ

ふふっ♡とっても元気なのじゃ♡

んっ♡

また欲しくなって……

吾輩も濡れてきちゃったのじゃよ……

れる♡えろ♡

ん、勇者よ、お主それ……

なんで、オチンポしゃぶってる吾輩にスマホを向けて何してるんじゃ？

オカズを撮るとかなら必要ないぞ？

お主が呼んでくれれば……

お主の精液なら、吾輩が全部出してやるからのっ♡

れるお♡ちゅぷ、ふっ……♡

ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡

んっ……え？動画を……撮って、あやつに送る？

そ、それはっ……だ、だめじゃ！

もう、撮っているのかっ……っ！

違っ、これは、違うんじゃないっ？

一転して媚び媚びに

えっ？

勇者よ……

じゃあ、しゃぶるのを止めても良いぞっじゃと……っ？

……それは、もっとなんじゃ！

勇者の事好き♡

もっとなんぽ、しゃぶっていたいのじゃ

あっ♡んっ♡じゅるるっ♡ちゅぷっ、んちゅ♡ちゅるる……♡

ちゅっ♡ちゅぽっ♡ちゅっ♡ちゅっ……♡

ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡

ぶぽっ♡ぶぽっ♡ぶぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡ぐぽっ♡

んっ♡ふっ……♡

少しだけ罪悪感

えっ……、あっ

今日って、クリスマスなのか？

それがどうしたんじゃ？

あ……

すまぬ……約束……忘れておった

また今年も一緒にあのツリーを見にいこうって……言ってたのに

ちゅっ♡ちゅぽっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

でも、仕方が無いんじゃない

勇者が、吾輩を抱いてくれる

セックスしてくれるって言うから

つい……夢中になってしまったのじゃ

ここで自分の気持ちに気づき、罪悪感が消える

あやつとの約束は大事だけど……

でも……吾輩は、勇者とそのオチンポの事も好きなのじゃ

ねる♡えろ♡れるろる…♡んえろ♡ええる♡るちゅ♡ちゆる♡ちゆるっ♡ぢゆる♡

え……どちの方が好きなのかって……

それは……もちろん

お主の、勇者のオチンポじゃよ？

わざと好きな人（主人公）を無視して気を引こうとする様な

意地悪な態度

当然じゃ……♡

あやつは……ただのシモべじゃしな

ふふっ

んふふっ

今、勇者のオチンポ、ピクってしたのじゃ

あやつには申し訳ないとは思うけど

それは……、当たり前だし仕方ないのじゃ

ツリーなんか見えていても気持ち良くないし

どうせだったら、ずっと

勇者と……お主のオチンポと過ごしたいのじゃ

スマホ越しの主人公に語りかける

嫌われるという恐怖を克服し、強がった様な声色

この動画を見ているなら……

のう、お主

約束、すっぱかして……すまんかったな

ふふっ、ここが分かるか？

吾輩が働いていた居酒屋のトイレじゃ

お主に初めて吾輩の真の姿を見せた場所じゃな

どうじゃ？

吾輩の身体、また大きくなったじやろう？

背も……胸も……

これが吾輩の……真の、真の姿なんじゃよ

背格好もそうじゃが、こいつの勇者のオチンポを啜える姿もな

ん……♡んちゅぽっ♡ちゅるぽ♡ぽちゅ♡ちゅぷう♡ちゅっ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡んぽ♡

ぶぽ♡ぶぽお……♡

ぶはっ……♡はあ……♡はあ……♡お主と約束したじやろ？

もう勇者と会わないって

一応、吾輩も頑張ったんじゃよ？

でも……この……勇者のオチンポが忘れられなくて

あの約束の後、一週間も持たなかったのじゃ

勇者に電話して、オチンポハメて欲しいってお願いしたのじゃ

その後も……ずっと、ずっと

お主に内緒で会っていたんじゃよ

お主と暮らしながら、時間を見つけては

バイトに行く、急にシフトが入ったって、何度も言ってたじやろ？

あれ、全部嘘なんじゃ

バイトなんてとくに辞めてて

勇者と会って、オチンポをハメて、しゃぶっておったのじゃ

んふふっ

ほれ、これを見るのじゃ

お主と違って、勇者のオチンポは大っきくてたくましいのじゃ

オマンコに入れると、すっごく気持ちいいんじゃよ

とっても、すごいのじゃ♡

ほれ、見てみよ

精液、太ももに垂れてきてるじやろ？

ここに来る前も勇者とハメまくっていたんじゃよ

ふふっ、そうじゃな

すまぬが、今日は帰れそうにないのじゃ

勇者のヤツが、吾輩と夜通しハメたいと言っておるからの
吾輩も勇者とセックスしたいし、そっちを優先するのじゃ
んっ、これ勇者、話してる最中に胸を揉むなっ……………♡

これから、吾輩は勇者とホテルに行くからのっ……………♡

ああ……………そうじゃ

一人の、クリスマス、寂しかろう？

お主はこの動画でオナニーでもすると良いのじゃ……………♡

吾輩と勇者から、お主へのクリスマスプレゼントじゃよっ♡

吾輩と勇者がホテルでセックスしている間

お主はこの動画でオナニーをすると良いのじゃ

【E面／密着】

ささやく、かわいく

メリークリスマスっ♡

声のトーン：大人の女性

【右／近】

感情薄く、達観したように

目が覚めたか？

お主、だいぶ疲れた顔をしておるな

こんな所で居眠りするまで

吾輩がいつ帰ってくるかと、ずっと待っていてくれたんじゃないかなんな動画を見せつけられたというのに

……お主は相変わらずじゃな

ほれ、外はもうもう昼過ぎじゃぞ

クリスマス、終わってしまったな

昨晚あれだけ浮かれていた町も、嘘の様に……

夢を見ていたように静まりかえっておるぞ

ん、戻ってきてくれたのかって？

……うむ……そうじゃな……

今日はな、お主に謝りにきたんじゃない

お主には、たくさん嘘をついてしまったからな

全部正直に話して、そして謝ろうと思ったのじゃ

なあ、聞いてくれるか？

吾輩の嘘、してきたこと、全部

お主を傷つけてしまうかもしれないがな

それでも、聞いておいてほしいんじゃない

吾輩はな、いまだ、お主の事が大好きじゃぞ

でも、だが……それ以上に

今は勇者の事が好きで好きでたまらないんじゃない

身体も、心も全て勇者のヤツに捧げたいと思っておる

お主に注ぐ愛情が一滴も惜しいほどにな
だからの……？

ここで全て話して

お主と暮らした思い出と昔の自分に謝って……そしてサヨナラを言いに来たんじや
だから、吾輩がお主に隠れてしてきたこと

お主の目を盗んでは勇者と交わって

お主に嘘をついては勇者の精を受けてきた話、全て聞いてくれるか？

悪戯っぽく笑い、主人公を触る

ふふっ……勃っておるの

こつちも、相変わらずじゃ

……吾輩のヒミツを想像して勃ってしまったのか？

お主の心はどうあれ

身体は……この、お主の勃起したおちんちんは話を聞きたいと思っている様じやな

おちんちん、パンツの中で苦しそうじやな

今、出してやるぞ

ふふっ……

本当に元気じやな

懐かしみ、若干後悔の色を浮かべながら

【石／密着】※囁き

吾輩も最初はな……

最初は、本当に勇者のヤツの事が嫌いで……嫌でしうがなかったんじやよ……？

抱かれない、なんて考えてもみなかった

それでも、魔力の為、お主の為と自分に言い聞かせて、ガマンして、勇気を出してあの日会ってみたんじや

そうか……そこから吾輩は嘘をついていたんじやな

吾輩の最初の嘘はそこ

魔力の為、魔族の為くなんて大それた事を抜かした事じや

もちろん、全く考えて無かったわけではないぞ

だが、それは自分に言い聞かせてただけの、照れ隠し

一番の理由はこの身体

本当の姿をお主に見て貰いたかったんじゃないよ

小さな身体のままじゃ、お主の両親に挨拶することもできぬからな
吾輩も……少しは可愛いところがあつたじやろ？

語調を戻す

もう、こんな事を聞いてもなんの意味も無いが

どうじゃ？ 成長した吾輩の姿

惚れ直したか？ ふふっ

だが……勇者と再会して

あやつの大きな、勃起したオチンポを見せられてな

そんな気持ちも、一瞬で薄れてしまったんじゃない

そんな先の事より

うつとりと

もつと近くで見たい、触りたい、嗅ぎたい、味わいたいってな

実際に勇者のオチンポに触れて

口で奉仕して、精液を口と顔で受けて

あの時の吾輩はもう、お主の事さえ忘れておつたな

だから初めての本当の精液の味に伸びてしまつて

勇者にベッドに運ばれている間も……

ずーっと幸せで

入れて、早く入れてって

オマンコうずいておつたんじゃない

淡々と喋りながらも、思い出して身もだえする

実際、初めて入れて貰ったオチンポ

太くて、大きくて、硬くて

入れて貰っているだけで

まるで天国にいるみたいな心地じゃつたな

……本番、一回だけしただって言つたじやろ？

あれ、嘘なんじゃ

気づいておつたか？

一回セックスしてな

精液中に出して貰ったら、気持ち良すぎての

自分の中に精液からにじみ出てくる濃い魔力の感触

そのトリコになってしまったんじゃない

勇者の方は一度出して終わりなんてハナから考えていなかった様じゃからな

喘ぎ部は棒読みで

吾輩もそれに甘えて、次の一回も、吾輩

動けないフリを続けてして、犯してもらったのじゃ

あん、あん、おん、だめ、だめ、やめてって

下手なおしばいで拒否しての

でも、オマンコはキュンキュン締めて喜んで

勇者のヤツを喜ばせておったんじゃない

何回か中に射精して

勇者のヤツも、吾輩のしばいにじきにづいたみたいじゃったな

吾輩、すごく濡れちゃっていたからな

勇者のヤツ、意地悪して浅いところでオチンポ止めてきたんじゃない

自嘲気味に笑いながら

吾輩もプライドがあつたから必死でガマンしてたけど

結局の秒も持たなかったな

吾輩、自分で、必死に腰を使い始めて

不器用に腰を振りはじめて

吾輩はあの時に、魔王の肩書きとか誇りとか、全部捨ててしまったのかもしれないな

それほどまでに心地良くて、とろけてしまつて

勇者のヤツはしたり顔で吾輩の事を見ておつたが

全く悔しくもなかったな

腰を振る度に気持ち良すぎて、そっちに夢中でそれどころじゃなかったのじゃ

腰使いが下手くそだって怒られて

勇者がまた腰を振り始めてからもの

それからは……、ずっと吾輩もおねだりしていたぞ
もつともつとつて

オチンポの大きさとかだけじゃなく

勇者の技術もすごいんじゃないかな

こつちでもむこうでも、沢山女を抱いていた様じゃからな

……ふふつ

そうして何度も何度も中に出されて

この回目の頃にはもう勇者の事が大好きになってしまったのじゃ

キス、拒んだって言ったじゃろ？

お主にしか許さないって

その後な

吾輩からおねだりしたんじゃ

キスしてって

勇者のキス

舌を絡ませてきて、吾輩の口の中を全部貪るみたいなキスじゃった
どろどろで、ぐちゃぐちゃで

お主とのキス、忘れちゃうくらいに濃厚だったぞ

初めてオチンポしゃぶったときみたいに

頭が震えるぐらい気持ち良くての

勇者の唾液が口の中に入ってくるだけで幸せになって

もう吾輩、キスの事しか考えられなくなってしまったんじゃ

夢中になって、勇者の絡んでくる舌に答えたのう

勇者はキスしながら吾輩に覆いかぶさって

ばちゅん、ばちゅんってオチンポ突いてきたのじゃ

キスとセックス、どっちもおかしくなるくらい気持ち良くて

吾輩、途中から奉仕もわすれて一方的に勇者に攻められておったよ

それで、キスの合間に

勇者が吾輩の事をメスオナホにしてやると言い出しての

オナホって、あのプニプニした男の性欲を処理する道具じゃろ？

勇者の性欲を処理する道具と聞いてな

吾輩、嬉しくなつて

してくださいっっておねがいしちゃったんじや

あなたのオチンポ様にまいりました

今まで刃向かってごめんなさい

あなたの道具になります

メスオナホになりますってな

認めた吾輩を褒めてくれるみたいに

びゅ、びゅっって精液が流れ込んできてな……

屈服してから感じる精液の味、とっても甘くて濃厚じゃった……♡

だからな

考えてみれば、あの時、あの瞬間から

お主は吾輩のシモベなんかじゃないんじやよ

だって、オナホにシモベなんて普通はおらんからな

手を止めて笑う

【石／近】

……おっと、ふふっ……

まだ絶頂するには早いぞ

ぜんぶ、話し終えていないのじゃからな

折角の時間なんじや

最後までガマンして、聞いてくれよ

ゆっくり手を動かし始めた

【石／密着】※囁き

……ふむ……んっ……

ラブホからの帰り道

一人でな

帰ってお主の顔を見てからもずっと

どうしよう？って考えてたんじゃ

勇者とのパパ活

一回だけだという約束をお主としとったじゃろ？

もつとされてみたい、抱かれない

勇者の精液欲しいって

帰ってからもずっとそんなことばかり考えておった

お主にあったことを報告しながら

あったことを隠しながら

次、して貰うことばかり考えてしまっていたんじゃ

お主が二回目を許してくれたとき、本当に嬉しかったのう

だから二回目は

最初から吾輩も発情してみたいに勇者を求めたよ

勇者のヤツが引くくらいにがつついて、オチンポを求めておった

会うなり恋人のように唇を重ねて

その後何時間もずっと

何度も何度も混じりあったぞ

お主としたことのないプレイだった

勇者が望むこと

ヤツが喜ぶことは何でもした

言われるままに舐めて

されるままにオチンポを迎え入れたんじゃ

魔力が急速に回復して

身体が大きくなってしまっただけ

一回を越えた当たりから数えなくなったが

何度も、何度も、勇者の精液を受け止めたんじゃ

口で、顔で、胸で、尻で、子宮で

何度も、何度も

回復魔法も使いながら、何度も何度も、失神するまで交わったんじゃ

自嘲気味に笑いながら

その成果か

膨大な魔力を手に入れて急に身体が大きくなって

吾輩は舞い上がっておったな

やっつと、完全でないにせよ、吾輩の真の姿をお主に見て貰えるって

しかしな、お主はずっと不安そうで

なんだか嬉しそうじゃ無くて

吾輩は良く分からなくなってきたしまったのじゃ

ぽつりと、無感情に

もちろん、悪いのは全部吾輩なんじゃって

分かっておるよ？

でも、なんだか身体が小さい時ほど心がお主に惹かれなくなって……

同じぐらいの背丈のお主が別人に感じる様になってしまったんじゃ

お主と、これで終わらせるって約束してから……

お主と過ごしている時間が長いと

だんだんそれが吾輩にも分かってきてしまったんじゃ

お主としても気持ち良くなって

お主と勇者を比べてしまっ

その後は昨日の動画で教えたとおりじゃ

吾輩、結局一週間ももたずに勇者のところに戻ったんじゃよ

勇者のヤツ、吾輩の事笑っておったな

淫乱女って馬鹿にして

でも、吾輩は腹もたたんかったよ

だって本当のことじゃな

肉欲に負けて、大切な人を裏切ってしまったんじゃからな

じゃから吾輩

えへって愛想笑いして

媚びへつらっておねだりしたのじゃ

機嫌を損ねてオチンポを貰えなくなったら大変じゃかな
命令もされてないのにヤツの股間に顔をくっつけて

すりすりして、ファスナーを口で降ろして

勃起し始めたオチンポを口にふくんで

一週間ぶりのオチンポの味、すごく美味しかったのじゃ

結局

その日は一週間出来なかった分たっぷりセックスしたな
まる一日ぐらいじゃったか？

バイトが残業でつて

帰ってこなかった日があったじゃろ

その日じゃよ

吾輩が約束破つてセックスしてた日

勇者は大きくなった吾輩の身体をじっくり味わうように

何度も、何度も

体位を変えて交わったの

身体が大きくなってからお主とするとき、コンドーム使ってたじゃろ？

妊娠しちゃうかもしれないからうつて

一応、そのゴムを持って行ったんじゃが、勇者のオチンポは大きすぎてサイズが合わなかったのじゃ

お主の、ちっちゃいからな

ふふっ

だから最初から、ぜんぶ、ずっと生で中出し

もつとも、大きいサイズのを持って行った所で勇者も付けてはくれなかっただろうがな

……ふふっ
♡

勇者のやつ、身体が無駄にデカイじゃろ？

今考えると、お主と小さい吾輩ぐらいの差があったな

だから、勇者に抱かれているとどこか安心したんじゃな

その後も、お主に隠れて何度もしたのう

罪悪感があったのは最初の数回だけ

どんどん勇者への愛情に上書きされていったよ

居酒屋のバイトもそれから直ぐに止めてしまったからな？
することなんて勇者とのセックスぐらいしかなかったのじゃ
毎日毎日。

お主に隠れて

吾輩は勇者とずっとセックスしておったんじゃよ

お主は気づかなかったようじゃが

この部屋に勇者を招いてした事もあったな

お主が仕事にいつている間

ここで

二人で裸になって抱き合ってオチンポハメハメしたんじゃ

一度だけじゃないぞ

何度も、何度も

ハメて、ハメて、ハメたんじゃ

そして抱かれる度に、精液を貰える度に

心も勇者に惹かれていったんじゃ

あのモンスターみたいな外見も、粗野で乱暴な性格も、全部好きになっていったのじゃ
それから、またいっぱいして

いっぱい精液貰って

もう、取り返しがつかないぐらいに勇者の事が大好きなんじゃ

昨日も、そうしてずっとセックスしておったからのう

約束、忘れてしまっていてすまぬな

あの動画を見た後、お主はどうしておった？

見ながらこの小さなおちんちんをしゃごいて、オナニーでもしておったのか？

吾輩はな、明け方まで勇者とセックスしていたぞ

キスして、舌を絡ませて

何度も、何度も、中に出されて

何度も、何度も、絶頂してしまったの

ふふっ、お主もそろそろかの

ちよつと待つておれよ

最後じゃ、この姿じゃお主も寂しかろう？

少女魔王に姿を変える

声のトーン：ロリババア

どうじゃ？

お主と出会った頃の、小さな姿じゃ

ああ、お主にはこの姿の方が良いと思つての

この姿で、ずっと一緒だったものな

魔力が完全に戻ったゆえ、今の吾輩にとって姿を変える事など造作ない事なのじゃ

お主とは一年ぐらい、この姿でずっといっしょだったからの

たつた一年と少しの間ではあつたが

吾輩にとつてお主との日々は魔王として生きた500年の時より実りある思い出じゃつたぞ

すまぬな

じゃから、ここで終わりにして、無かつたことにしてしまいたいんじゃ

吾輩の身体も心も、もはや勇者のヤツのモノ

こうして話すのも、今日が最後じゃろう

ふふっ、ピクピクって

どうじゃ？

吾輩の手コキ、だいぶ上手くなつたろう

勇者のヤツに散々仕込まれたからな

ほれ、ツバをたらしてやるぞ

つばをたらず

んんっ……、べえ……

ふふっ……♡

すごい反応しているぞ……気持ちいいか？

たっぷり味わつてくれ

吾輩からのせんべつじゃ

でるか……？

ふふっ……

精液、上がってきたな

ふふふっ、折角じゃ、お主の絶頂と共に
別れの言葉を贈ろう

主人公、射精

さよなら、元気でな

精液、凄い量じゃの

今までで一番出たのではないか？

手で受け止め切れぬほど……

んっ……最後じゃ

お主の出した精液、飲んでやろう

んくっ、んっ、んっ……、ふはあ……

ふふっ、薄いが、とても美味じゃぞ

さて、仕上げじゃ

優しい口調で

身体、動かないじゃろ？

抵抗できないようにさせて貰ったのじゃ

声もでないはずじゃよ

言ったとおりもう、吾輩はお主の前に二度と姿を現す事はないじゃろう

一方的ですまぬが、もう未練もないしな

お主にとつて、吾輩が居ない生活はつらいかもしれぬ……

そう思ったからな……

吾輩の魔王としての魔力で、戻った魔力で

お主の記憶を消してやる事にしたんじゃよ

大丈夫

全部無かったことになるんじゃよ

吾輩と勇者の事だけ、綺麗さっぱり忘れて

消えるんじゃ

ほら……ゆつくり目を閉じるんじやよ
良い子じやな

丁寧なゆつくりと

吾輩と勇者の不貞も

出会ったあの日の吾輩も

吾輩のつたない卵焼きの味も

お主がクリスマスに誘ってくれた狭いトイレも

一緒に見た光り輝くツリーも

告白して、顔を赤らめた吾輩の表情も

初めて一緒に寝た日も――

すべて